

CH62-1432

Made In Vietnam

Landwell, Inc.

Aoyama Crystal Building. 7F 3-5-12 Kitaaoyama Minato-ku Tokyo 107.0061 TEL 03-6432-9550

KOYA TENT T/C 5

取り扱い・組み立て説明書



この取り扱い説明書は大切に保管してください。

この度はチャムス製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。 設営の際は水はけが良く、出来るだけ平らな場所を選んでください。 また、石や木の枝等、テントを傷つける恐れのあるものは、あらかじめ取り除き、 整地してから設営してください。

セット内容・各部名称

《セット内容》お出かけになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

r		
·本体	1張	・自在ロープ短 (白) 10 本
・インナーテント	1張	・自在ロープ長(グレー)2本
・ポール	3本	収納袋(本体用) 1個
・窓用カーテン	1セット	・収納袋(ポール用) 1個
・フラッグ	1本	• 収納袋(ガイローブ・ペグ用) 1個
・スチールペグ	26本	1

《各部名称》 寝室側ポール センターポール 前室側ポール 収納袋(本体用) 収納袋 (ガイロープ・ペグ用)

組み立て・使用上の注意及び禁止事項



プラック この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、 または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- ●テント内での火気の使用は大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかす恐れがありますので、 絶対におやめください。
- ●台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテントの使用はお避けください。
- ●河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でテントを設営しないでください。



この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった 人的傷害、または物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- ●キャンプ場へお出かけの前に全ての部品がそろっているか確認してください。
- ●テントの設営は2人以上で行ってください。無理な設営はポールの破損や本体破れの原因となります。
- ●テントの設営の際はグローブを着用してください。
- ●ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないように注意してください。
- ●ポールを伸ばす際は周囲に十分注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- ●テント本体を立ち上げる際はポールの跳ね返りに注意してください。
- ●ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- ●小さいお子様にポールの組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- ●風が強い時はテントの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、 本体破損の原因となります。
- ●テント設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- ●石や木の枝等、テントを傷つける恐れのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- ●テント本体はペグで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故に つながることがあります。
- ●テントを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の状態を確認しておいてください。
- ●テントから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テントが 飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- ●結露について

デントの生地には撥水加工が施されていますので外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に 水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント内の換気を行うことで改善 することが出来ます。

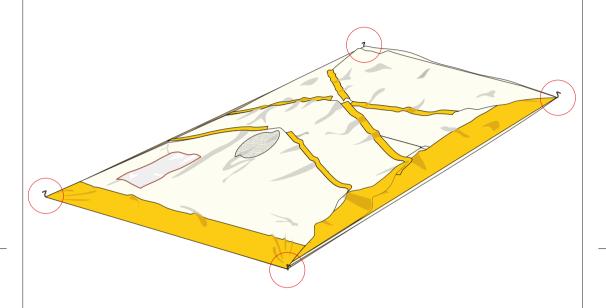
収納・管理の注意



この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった 人的傷害、または物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- ●使用後は汚れを十分に落とし、十分に乾かしてから収納・保管してください。濡れたままの状態で収納しますと、色移りやカビの発生の原因となります。
- ●撤収時、本体を乾かせない場合は、出来るだけ早く乾燥させてください。そのまま放置しますと 色移りやカビ発生の原因となります。
- ●汚れを落とす場合は、固く絞った布でふき取り、よく乾燥させてから保管してください。
- ●シンナー・ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色及びプリントや樹脂加工の剥がれの 原因となります。
- ●本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- ●幼児、子供の手の届かない場所に保管してください。

STEP:1)本体を広くて平らなスペースに本体を広げ、4 隅をペグダウンします。

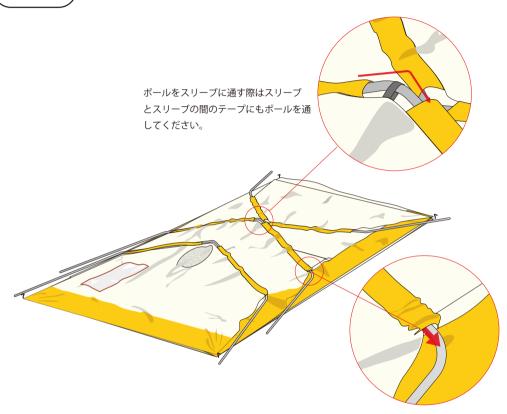


注意

本体を広げる際は、本体の下に大きな石や切り株等がない事をご確認下さい。

STEP: 2

ポールを全て組み立て、組み立てた3本のポールを下図のようにそれぞれのスリーブに通します。

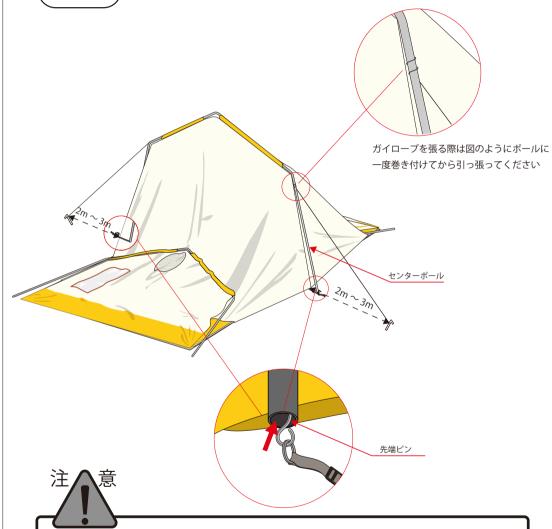


ポールをポールスリーブに通す際は、ポールを引っ張って通すのではなく、ポールを押してスリーブに通してください。



ポールの長さは全て同じです。どのポールをどのスリーブに通しても問題ありません。

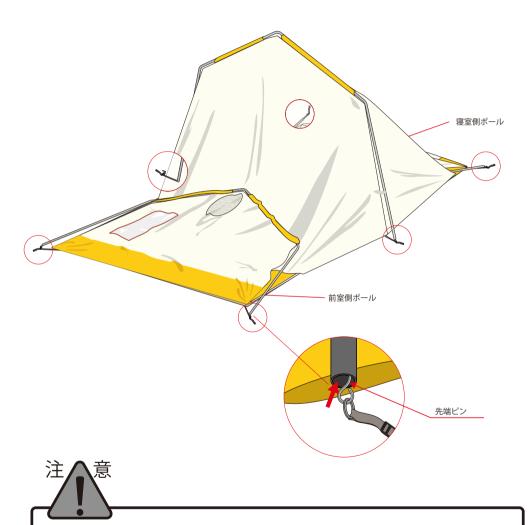
最初にセンターポールに本体先端ピンを挿入して、センターポールを STEP: 3 立ち上げます。



センターポールの立ち上げ時は本体から $2m \sim 3m$ 程の距離にペグダウンして、ロープを張ってください。

STEP: 4

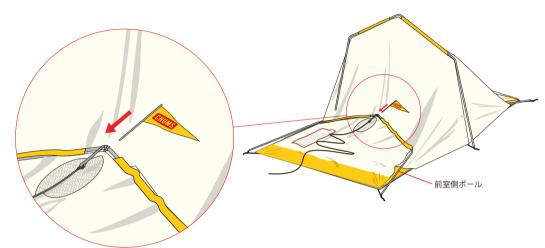
前室側ポール、寝室側ポールもそれぞれ本体先端ピンをポールの先端 に差し込みます。



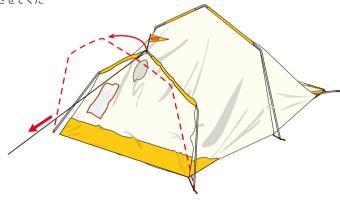
ポールがしっかりスリーブに入っていないと本体エンドピンが入りづらい場合がありますので、その場合はポールがしっかりスリーブに入っているかご確認ください。

STEP: 5

前室側ポールにガイロープ長 (グレー)を結びつけ、ペグをダウンして、前室側を起こします。



前室側ポールスリーブの中央についているテープをにポールに一度巻き付け、ガイロープ長 (グレー)を結びつけます。この時にフラッグも装着させてください。

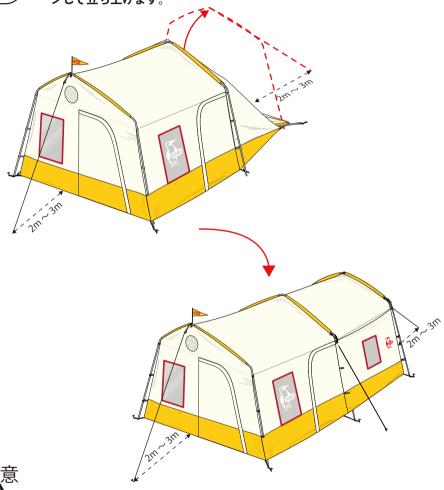


注意

フラッグはテント立ち上げ後も装着可能ですが、先につけておいた方が楽に装着できます。

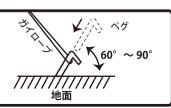
STEP: 6

寝室側ポールも同様にガイロープ長 (グレー)を結び付け、ペグダウンして立ち上げます。



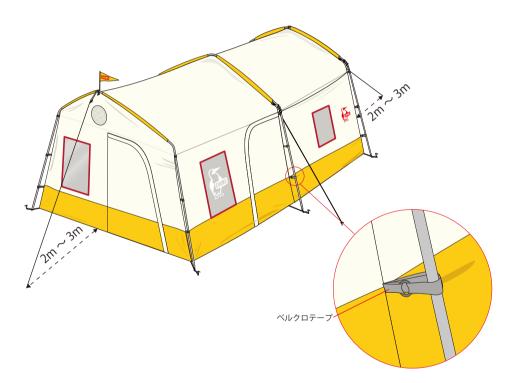
注意

ペグは右図のように地面に対して $60^{\circ} \sim 90^{\circ}$ の角度で打ち込むと効果的です。



STEP: 7

本体からポールに沿って出ているベルクロテープをポールに巻き付け 固定します。

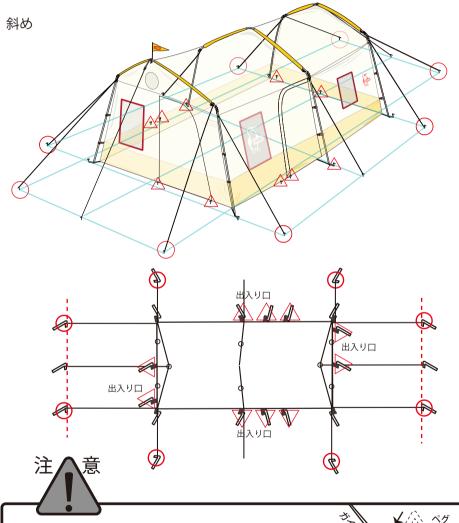


注意

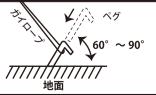
ポールと本体をつなぐベルクロは片側 9 か所、合計 18 か所あります。全てのベルクロで本体とポールを固定してください。

STEP:8

テントにガイロープ短 (白)を取付け、下図〇印の箇所にペグダウンします。本体にも下図△印の箇所にペグダウンし、固定します。



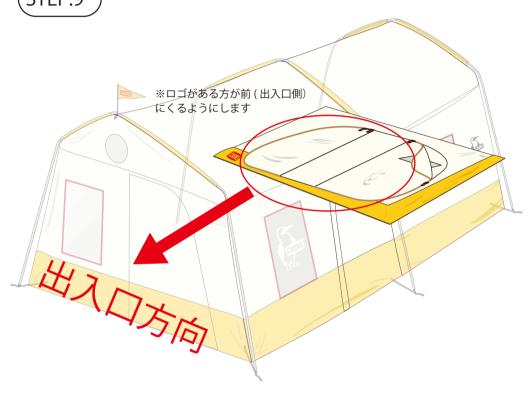
ペグは右図のように地面に対して $60^\circ \sim 90^\circ$ の角度で打ち込むと効果的です。



20SSV02

設 営 手 順

STEP:9 インナーテントを出入口方向を確認してテントの中で広げます





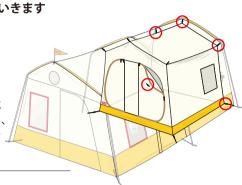
インナーテントを広げる際は、インナーテントの出入り口方向を確認して、広げてください。

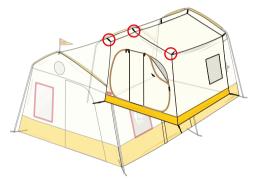
STEP:10

インナーテントを本体に固定していきます



1 最初に後ろ側上部をベルクロで固定したあと、後ろ側下部のゴム紐を本体リングに固定します。







2 次に前室側上部をベルクロで 固定します。



3 最後に前室側下部のゴム紐を本体リングに固定します。

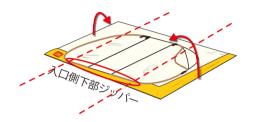


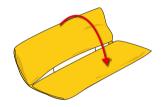
インナーテントを本体に装着の際は、奥側から取り付けてください。

撤収手順

STEP: 1

インナーテントを外し、広げて畳みます。 この時空気が抜けるように、入り口下側のジッパーを開けておきます。



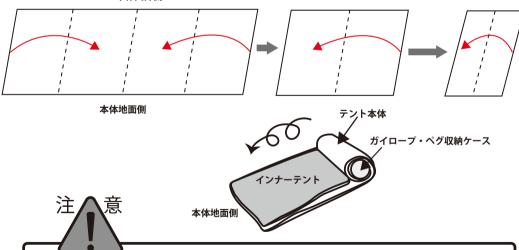


STEP: 2

テント本体から全てのガイロープ、ペグを外し、ガイロープ・ペグ収納袋 に収納します。

本体を下図のように畳み、ポールケース、インナーテントも一緒に空気を 抜きながら、丸めていきます。

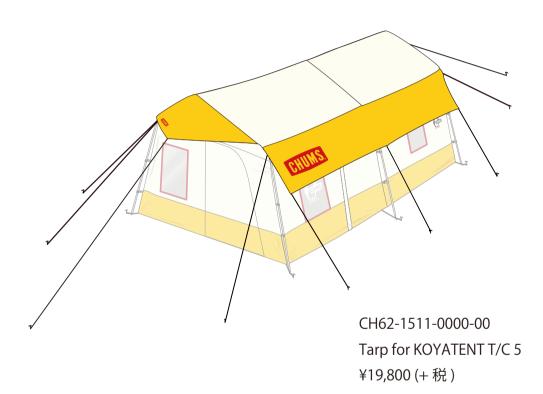
本体天井側



インナーテントの入り口側のジッパーは折りたたんだ際に空気が抜けるように少し開けておきます。テント本体をたたむ際は、空気が抜けるように本体天井側から本体地面側に向かって巻いていって下さい。

【別売】タープ

設営したテントに専用タープ(別売)をつけるとより快適に過ごせます。





専用タープは別売りです。

タープがなくても KOYA TENT T/C 5 は使用可能です。

